



保存版

防災訓練日特集号

(写真) 阪神・淡路大震災の発生間もない時の火災風景です(NHK 資料)。地震の時にユーカリが丘で一番被害が大きくなると心配されるのは同時多発火災です。

25年度防災訓練の災害想定

10月27日(日曜日)午前8時15分に、千葉県東方沖を震源とする震度5強の地震が発生した。家屋の倒壊はないが瓦の落下は数か所で見られる。しかし震度5弱の余震が続いているので、周辺地域で家屋の倒壊と火災発生の心配がある。天気はくもり、雨の予報はない。風は北西の風が10m/sとやや強い。

避難場所(*1)と避難所(*2)

まちを守る会では避難場所として萱橋(かやはし)公園、古山公園、南公園、志津コミュニティセンター、および小竹小学校を考えています。2丁目自治会の一時避難場所は萱橋公園ですが、避難する方が多く混雑が激しい時、あるいは風向きによって火災の被害が見込まれる場合などは他の避難場所へ移動します。他の避難場所の状況は、まちを守る会でできるだけ新しい情報を収集して住民のみなさんにお知らせしますが、状況によって避難誘導のできないことも考えられます。その場合は情報を確認していただき、出来るだけ家族単位で避難してください。なお要援護者制度に登録されている方はまちを守る会会員がご案内します。

被災状況によって避難所での生活を余儀なくされる場合は、原則として小竹小学校をお勧めします。ただ収容できる人数は体育館を使用した場合で465名です。体育館は耐震構造ではないので3・11の時は壁にヒビが入り使用できませんでした。体育館が使えない場合、校舎内の収容は315名になります。

出来るだけご近所で助け合うか、親戚等への避難を考えてください。

(体育館は平成26年11月から約1年間の予定で耐震化の工事を行うため使用できません)

(* 1) 避難場所：一時的に避難する場所です。防災倉庫のないところがほとんどです。

(* 2) 避難所：生活する場所です。家の倒壊や焼失で生活できなくなった方を収容します。建物を利用しますので開設までに時間のかかる場合があります。なお、病气療養中の方、高齢者、乳児を抱えた家族、障害をお持ちの方を優先します。

災害時はまず「自助」ですが、その上で「共助」・“ご近助力”を發揮するときです。

まず近所の安否を確認し合ってください。異常が発生した場合はご近所や、親しくしているご家庭に助けを求めましょう。万一家屋が倒壊していたり、黄色いリボンの表示がない家庭があったら、まちを守る会の会員にお知らせください。また防災連絡員や防災委員、自治会役員が、要援護者登録をされている方の安否確認や救助をお願いしたときはご協力ください。

家族、親族の連絡

災害発生時に家族、親戚、友人等と安否の連絡を取るには「災害用伝言ダイヤル 171」の利用がお勧めです。*通信規制地域外からも録音（登録）、受信（再生）ができます。

大事なことは普段から家族で連絡方法の確認をして、平时に体験しておくことです。

「災害用伝言ダイヤル 171」はまず試してみましょう。音声で優しく案内していますのでゆっくりと操作すれば簡単に録音・再生できます。（携帯電話からも録音できますが、携帯番号の登録はできません）下記のように災害時ではなくても体験できる日がありますので、ご家族でお試してください。

「171」の体験利用ができる日

- ・ 毎月 1 日、15 日（ 00:00 ~ 24:00 ）
- ・ 正月 3 が日（ 1 月 1 日 00:00 ~ 1 月 3 日 24:00 ）
- ・ 防災週間（ 8 月 30 日 9:00 ~ 9 月 5 日 17:00 ）
- ・ 防災とボランティア週間（ 1 月 15 日 9:00 ~ 1 月 21 日 17:00 ）

情報の収集

電話が通じる場合は次の方法で情報収集ができます。

佐倉市防災行政無線のテレフォンサービス

防災無線の放送を聞き逃したり、聞きづらかった場合に電話で放送内容を確認できます。

0120-711-508

消防自動車が出動したときに出勤先と目的を聞くことができます。

043-485-0119

- * 消防自動車がサイレンと鐘を打ちながら出動するときが火災です。
- * 火災の時は場所と規模を確認しましょう。避難が必要な場合があります。

台風 26 号の被害

10 月 15 日夜から 16 日午前中にかけて通過した台風 26 号により町内でも 19 番地の 20 先交差点で 30 cm ほど冠水し、家の内部にある駐車場に浸水、消防車による排水作業を行った被害がありました。また駐車場入り口のステップアップが 11 個交差点中央に流されていました。災害は地震だけではなく、時間雨量が 50 mm 以上になるとマンホールから下水が逆流する被害もありますので、防災無線、佐倉メールなどで情報収集をしましょう。（写真右：流れてきたステップアップ）

